



横浜市立義務教育学校 緑園学園

RYOKUEN COMPULSORY EDUCATION SCHOOL

横浜市泉区緑園五丁目 28 番地 前期課程 ☎045 (811) 6710 後期課程 ☎045 (811) 6030

「開校5年目の節目に ～学校づくり 第2章の継承～」

校長 土谷 満

本年度4月1日付で校長として着任いたしました、土谷満と申します。

開校以来、初代野口弘之校長先生をはじめ、多くの関係者の皆様が大切に創り上げてこられた緑園学園は、横浜市の義務教育学校として大きな使命を担うとともに、小中一貫校の良さを最大限に生かし、子どもたちが伸び伸びと元気に学校生活を送っている学校であると感じております。そのような魅力ある学校に着任いたしましたことに、未来を担う子どもたちの育成に携わる責任の重さを改めて実感し、身の引き締まる思いでおります。どうぞよろしくお願いいたします。

本年度の管理職体制につきましては、校長である私を含め、東森清仁准校長、柴諭副校長（前期）、杉山学副校長（後期）の体制で、よりよい学校運営に努めてまいります。また、新たに着任した教職員も含め、全教職員で緑園学園の教育活動を大切に継承しながら、子どもたちにとってより良い学校づくりを進めてまいります。

さて、本校では「真のグローバル人材に 自主・協働・創造」という校訓のもと、学校教育目標の実現に向け、SDGsを教育活動の基盤に据えながら、様々な工夫を凝らした教育活動が展開されてきたと伺っております。本年度は、開校5年目という節目の年を迎え、昨年度に引き続き「学校づくり 第2章」と位置付け、質の高い教育の充実を図ってまいります。小中教員による「乗り入れ授業」や、前期課程における一部教科担任制の充実、たてわり活動を取り入れた昼の清掃活動などを通して、本校ならではの特色ある教育活動をさらに推進してまいります。

本日7日には、始業式および7年生の進級式を行い、午後には1年生の入学式を行いました。新入生、進級生、在校生それぞれが、元気で明るい表情で新たな学校生活への期待に胸をふくらませている様子が、大変印象的でした。入学式では、保護者の皆様をはじめ、多くの皆様に温かく見守っていただく中での式となりました。

近年、ICTスキルの進歩等により、人々の生活が急速に便利になった一方で、人と人とのつながりが希薄になっているとも言われています。しかし、今も昔も変わらず大切なことは、人との「ご縁」や「つながり」を大切にすることではないかと感じています。本校が、子どもたちにとって安心して学び合い、互いを認め合える場であり続けられるよう、日々の教育活動に取り組んでまいります。本年度も、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様におかれましては、引き続き温かいご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

学校教育目標

- 自ら学び、考え、表現し、問題解決する力の育成
- 自他の生命を尊重し、心と体の健康を向上していく力の育成
- 他者と協働し、よりよい生き方を創造する力の育成